

エコアクション21


環境経営活動レポート

2022年度版

活動期間 2022年5月1日～2023年4月30日



『自然豊かなこの環境を
未来へつなごう』

 株式会社 新庄エレメックス

発行日 2023年7月10日



エコアクション21

認証番号0011239

目次

1. 環境経営方針	2
2. 会社概要	3
3. 事業活動	4
4. 環境経営目標	5
5. 目標の達成状況	6
6. カーボンニュートラルへの取り組み	7
7. 環境経営活動の取組内容	8
8. 環境経営活動の取組と評価	9～10
9. 環境提案活動 その他環境経営活動(社内緑化)	11
10. 環境法規制等の遵守状況 代表者による全体の実績評価と見直し	12

報告対象期間:2022年5月1日～2023年4月30日

環境経営方針

●基本理念

(株)新庄エレメックスは、事業活動において、地球環境との調和をめざし、資源有効活用と環境汚染の防止に
取り組み、企業としての社会的責任を果たし、産業界及び地域社会に貢献して行きます。

●キャッチフレーズ

『自然豊かなこの環境を未来へつなごう』

●活動方針

- 1 当社の事業活動における環境負荷を低減するとともに、環境負荷にかかる経費の削減を行い
経営の合理化と企業イメージの向上をはかり、企業の永続を目的に以下の項目を重点テーマ
として取り組みます。
 - ① 地球温暖化防止(二酸化炭素排出量の削減)
 - ② 廃棄物の削減
 - ③ 製品への環境配慮
 - ④ 化学物質の削減と適正管理
 - ⑤ 水使用量の削減
- 2 国・地方自治体が定める環境関連法規制およびその他の要求事項を遵守します。
- 3 責任と権限を明確にした環境経営システムを構築し、継続的改善を行います。
- 5 環境経営方針は、全従業員に周知し、社外からの要求に対し開示します。

制定:2016年 2月19日

改訂:2019年10月 1日

株式会社新庄エレメックス

代表取締役 戸田 隆

会社概要

〔事業所及び代表者名〕

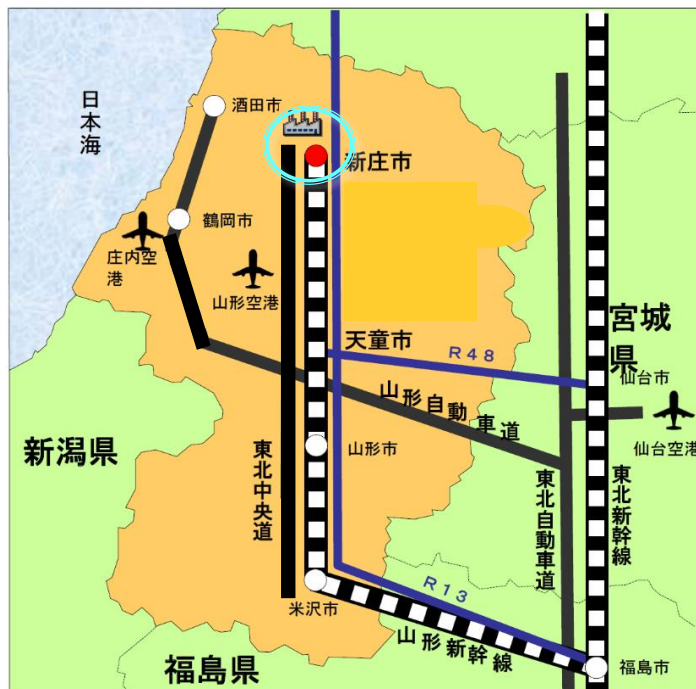
株式会社新庄エレメックス

代表取締役 戸田 隆

〔所在地〕

本社・工場：〒996-0053 山形県新庄市大字福田711-36 新庄中核工業団地内

(※本社・工場以外に事業所等はありません)



〔環境管理責任者氏名及び担当者連絡先〕

環境管理責任者 松田 英雄

環境管理担当者 中島 美貴

TEL:0233-23-1566

〔事業の規模〕

活動規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度
売上高	百万円	2,778	2,848	2,622
従業員	人	104	107	104
床面積	m ²	10,300	10,300	10,300

〔認証・登録範囲〕

全組織・全活動を対象とします。

事業活動

時代の先端を行く「エレクトロニクス」と「メカトロニクス」この2大産業を社名の由来とする「新庄エレメックス」は、自動車用精密加工部品とイメージセンサー用樹脂成型部品の生産を2本の柱として、地域に根ざした生産活動を続けながら、世界市場に販売しております。

自動車用精密加工部品

サスペンション
構成部品



パワーステアリング
(電動・油圧ポンプ) 構成部品



回生ブレーキ
ECS (横滑り防止)
ABS
構成部品



エアコン用
コンプレッサー
構成部品



熱可塑性樹脂 (PEEK)



トルクコンバーター
構成部品



EV用モーター
構成部品

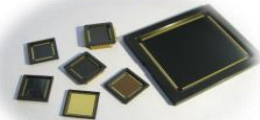


リンク機構構成部品



イメージセンサー用 樹脂成型部品

PLAPACS®



用途

DIGITAL STILL
CAMERA



SECURITY



VIDEO CAMERA、等



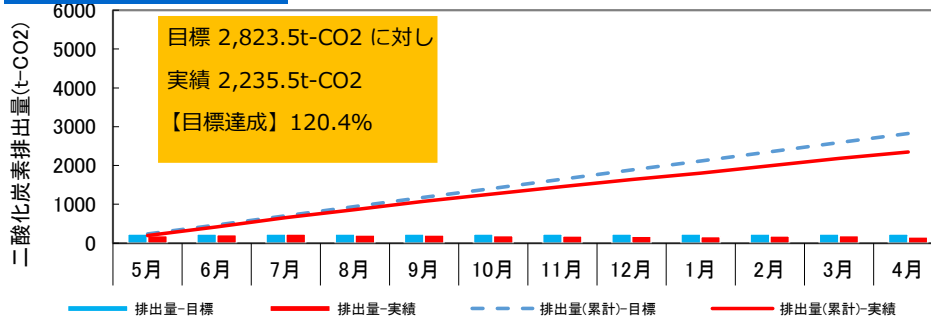
環境経営目標

管理項目		2022年度 目標値	2023年度 目標値	2024年度 目標値
二酸化炭素 排出量の 削減	電力	2,744.1 t-CO2	2,689.2 t-CO2	2,634.3 t-CO2
	灯油	74.2 t-CO2	72.8 t-CO2	71.3 t-CO2
	ガソリン	3.3 t-CO2	3.2 t-CO2	3.2 t-CO2
	軽油	1.9 t-CO2	1.8 t-CO2	1.8 t-CO2
	合計	2,823.5 t-CO2	2,767.0 t-CO2	2,710.6 t-CO2
廃棄物 排出量の 削減	可燃物	4.5 t	4.4 t	4.3 t
	不燃物	1.2 t	1.1 t	1.1 t
	紙類	9.0 t	8.8 t	8.6 t
	廃液	129.4 t	126.8 t	124.2 t
	プラスチック類	12.2 t	12.0 t	11.7 t
	木屑	8.4 t	8.2 t	8.0 t
	汚泥	4.5 t	4.4 t	4.3 t
	陶磁器屑	0.1 t	0.1 t	0.1 t
合計	169.3 t	165.7 t	162.3 t	
節水	水使用量	14.4 Km ³	14.1 Km ³	13.8 Km ³
製品への環境配慮		不良品の廃棄量削減・・・歩留改善改善		
化学物質の適正管理		適正管理、監視強化		

※電力の二酸化炭素排出係数は、東北電力2018年(調整前)0.522を使用しました。

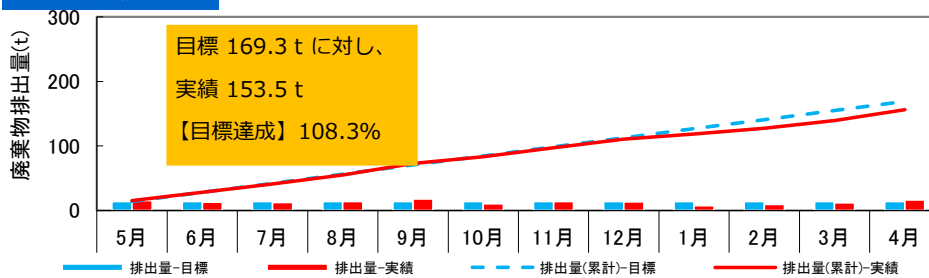
目標の達成状況

二酸化炭素排出量



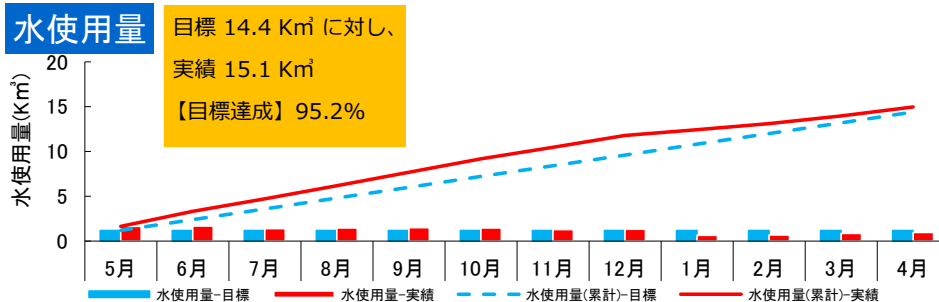
【次年度の取組内容】
デマンド管理を強化し
使用状況の情報配信を
タイムリーに行い、
節電意識の向上を図り
ます。

廃棄物排出量



【次年度の取組内容】
廃棄物処理業者と積極
的な情報交換を行ない
廃棄物の削減、リサイ
クルの強化を行いま
す。

水使用量



【次年度の取組内容】
各部門の市水・工業用
水の使用状況を正確に
把握し、改善効果が視
えるよう、また迅速に
異常が発見できる仕組
みを作っていきます。

製品への環境配慮

製品廃棄量・材料使用量削減

【次年度の取組内容】

今年度に引き続き、歩留改
善を図り、製品の廃棄量及
び材料の使用量削減に努め

化学物質の適正管理

適正管理&監視強化を継続

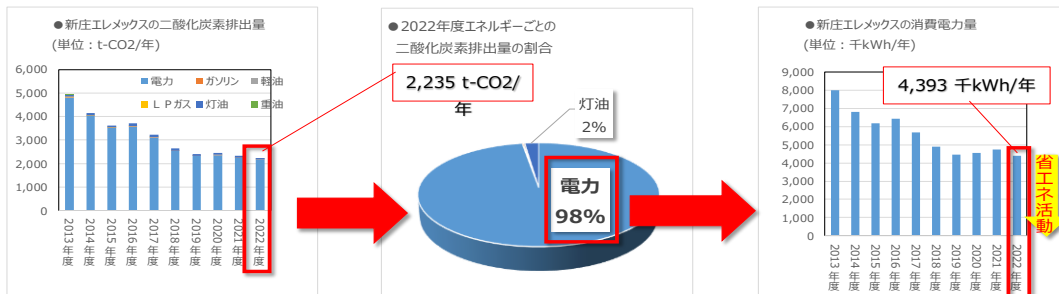
【次年度の取組内容】

化学物質は適正に管理し使
用の監視強化を継続して行
います。

カーボンニュートラルへの取り組み

当社は、企業の社会的責任を实践する上で重要な環境問題に継続的に取り組んできました。近年、地球温暖化対応として脱炭素化などのカーボンニュートラルを目指す動きが世界的に加速しています。また、カーボンニュートラルの取組みは ①コスト削減 ②競争力向上 ③社員のモチベーション向上 ④企業の社会的責任への取組み に繋がります。

これらを背景に当社では、2022年4月に【2035年工場単体カーボンニュートラル達成】に向けた活動を開始しました。



(2022年度の取り組み)

- ・2022年4月 キックオフ(カーボンニュートラル推進室設置)
- ・2回/月 カーボンニュートラル推進会議
※2022年5月～2023年4月まで計23回開催
- ・2022年10月 省エネ最適化診断受診
- ・2022年11月 省エネ最適化診断結果説明会

電力使用量の見える化、省エネ推進(運用改善)、設備投資(高効率設備への切替)、省エネ診断など



環境経営活動の取組内容

二酸化炭素排出量削減

「外観検査工程 空調電力削減」 冬期間パッケージエアコン稼働停止



【時系列温度】

測定時間	8時	10時	12時
天井	18.2℃	23.1℃	30.1℃
床上100cm	15.2℃	19.1℃	23.2℃
床上15cm	14.8℃	16.8℃	19.2℃

作業環境条件 温度:20℃~30℃
湿度:40%~70%

外観検査工程は、天井型パッケージエアコンを4台稼働していますが、始業時にエアコンを入れても、中々作業条件の温度まで上がってきませんでした。特に、検査作業机の下(床付近)は、温度が低いので足先が冷え検査作業に集中できないことがありました。

検証した処、空調の設定温度は25℃としていますが、**天井付近に暖かい空気が溜まっている**ことが確認されました。



改善ポイント

- ・天井付近の温まった空気を攪拌し室内全体の温度を均一にする目的でハイブリットファンを設置したところ、床上100cm付近の温度の上りが1時間程早くなり天井から低床まで室内全体の温度差も小さくなりました。
- ・ハイブリットファンだけでは低床付近の温度が低く足先の冷えが解消されなかったので低床の温まりにくさの改善と足元の保温を兼ねてパネルヒーターを設置しました。
- ・ハイブリットファンとパネルヒーターの相乗効果で、エアコンの稼働台数を減らしても環境を維持出来るようになり、電力の削減にもつながりました。

* 電力削減の効果=6.3kwh

改善前: エアコン4台 × 3.6kwh = 14.4kwh

改善後: エアコン2台 × 3.6kwh + パネルヒーター6台 × 0.15kwh = 8.1kwh



パネルヒーター設置により足元が保温されました。

測定時間	8時	10時	12時
天井	18.0℃	22.5℃	27.8℃
床上100cm	15.1℃	19.8℃	23.1℃
床上15cm	14.5℃	17.6℃	20.9℃



ハイブリットファンは、空調からの吹き出しにより回転するので、消費電力は掛からない!

環境経営活動の取組と評価

二酸化炭素排出量削減

環境管理 重点テーマ	取組内容	評価
二酸化炭素 排出量 削減	1 共有箇所のLED化	○
	2 緑化環境整備(苗木植樹)	×
	3 複合機省エネタイプへ変更	○
	4 第2、3工場蛍光灯のLED化	○
	5 第2工場のエアー漏れ改善	○
	6 遮光スクリーンによるコンプレッサー・冷蔵庫・ 空調室外機の効率低下防止	○
	7 クリーンルーム内照明のLED化による消費電力削減	○
	8 セルフチェック作業台照明の人感センサー化による 電力消費削減	△
	9 クーリングタワー未使用化。循環水、純水再生水の利用	○
	10 水冷式コンプレッサーインバーター機への入替による 消費電力削減	継続
	11 クーリングタワー停止による電力削減	継続
	12 電解槽保湿シート貼り付けによる電力削減	○
	13 クーリングタワーの効率アップによる電力削減	○
	14 基板工程 空調電力削減 冬期間パッケージエアコン稼働停止	○
	15 外観工程 空調電力削減 冬期間パッケージエアコン稼働台数半減	○
	16 メッキ送り工程移動「間仕切り」による空調電力削減	○
CO2排出量 t-CO2 目標 2825.3 実績2235.5		○
コメント 各グループでの省エネ対策による電力使用量の削減が出来ている。 省エネ診断のアドバイスを受けうまく活用し更なる削減を目指す。		
次年度への取組内容 各グループでの取り組み内容追加、カーボンニュートラルでの取り組みを計画的に進めて、社員一同節電意識の高揚を図る。		

廃棄物削減

環境管理 重点テーマ	取組内容	評価
廃棄物 排出量 削減	1 雑紙回収リサイクルBOX活用で可燃物の削減	○
	2 管理部内ワンウェイプラスチック50%削減	×
	3 第2工場シャフト超音波洗浄の廃止による廃液量削減	△
	4 第1工場基板フラックス洗浄槽アルコール使用量の低減	△
	5 タレット完成品収納袋の廃止	○
	6 設備上面カバーの透明化による設備内照明の削減	○
	7 ロットカード用クリーンペーパー廃止化で廃棄物削減	継続
	8 電解液劣化鈍化による交換頻度の低減	継続
	9 作業服リサイクル回収による廃棄物削減	○
廃棄物排出量 t 目標169.3 実績153.5		○
コメント リサイクルによる廃棄物の削減効果が出ている。(紙類・洗浄液等) 取組内容をさらに継続して排出量の削減に努める。		
次年度への取組内容 廃棄物処理業者と積極的に情報交換を行ない、分別回収をスムーズに出来るようにする。社員一人一人がリサイクルに関心を持つように呼びかける。		

評価: 数値目標の達成状況…○80%以上 △60~79% ×59%以下

環境経営活動の取組と評価

節水

環境管理 重点テーマ	取組内容	評価
節水	1 水使用量の見える化	○
	2 第2工場シャフト超音波洗浄液の全交換頻度削減による希釈水量削減	△
	3 市水蛇口のシャワーヘッド取付による手洗い節水	○
	4 クーリングタワー未使用化。循環水、純水再生水の利用	○
	5 クーリングタワー停止による工業用水使用量削減	継続
水使用量 km ³ 目標14.4 実績15.1		×
コメント 水冷式の設備増加が使用量増の背景にある。 各グループでの水量削減アイテムを追加して目標を達成していく。		
次年度への取組内容 市水・工業用水の使用状況を把握し、設備から出る冷却水排水を再生利用できないか検討する。		

化学物質の適正管理

環境管理 重点テーマ	取組内容	評価
化学物質の 適正管理	1 PRTR法対象管理指定化学物質の適正管理	○
	2 新しい化学物質使用監視強化	○
	3 医薬外劇物の使用量/保管量管理 (日常点検/記録にて継続管理)	○
コメント 化学物質は現状保管管理を使用部署で適正に管理し、問題ない状況にある。		
次年度への取組内容 化学物質は適正に管理され使用の際の監視強化を継続して行なう。 新規使用の化学物質にも、継続して監視を行なう。		

製品への環境配慮

環境管理 重点テーマ	取組内容	評価
製品への 環境配慮	1 会社及び家庭で役立つ環境基礎教育の推進	○
コメント 会社で行った環境への配慮を、家庭や社会に反映すれば大きな効果が得られる。 常に環境への関心を持つようにする。		
次年度への取組内容 歩留まり改善を図り、製品の廃棄量及び材料の使用量削減に努める。		

評価:数値目標の達成状況…○80%以上 △60～79% ×59%以下

環境提案活動の取組

環境提案について

社員は毎月1件改善提案を提出する活動を行っています。

環境・品質・安全・6SIに関する改善は特に評価されます。

下表は2022年度の環境提案賞です。

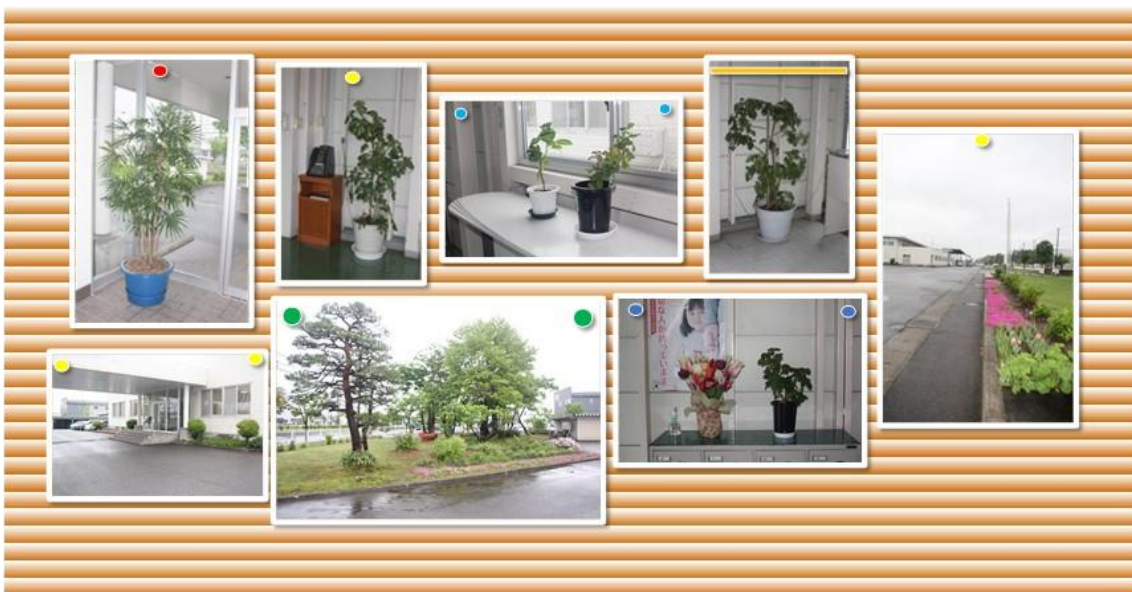
年月	サークル名	提案者	提案名称
2022年5月度	笑笑	浅沼さん	使用済内訳用紙の分別改善
2022年6月度	笑笑	阿部さん	水道水の節水
2022年7月度	Berry's	石山さん	打錠4号機の改善
2022年8月度	Cc-Mission II	芳賀さん	焼入れ設備用ホップの件
2022年9月度	Cc-Mission II	松田さん	クーリングタワー冷却改善
2022年10月度	Berry's	早坂さん	基板 仕掛金額算出の簡素化
2022年11月度	タイムレンジャー	池田さん	コンプレッサー室廃熱暖房効率アップ
2022年12月度	Cc-Mission II	堀さん	TB完成品収納袋の廃止
2023年1月度	Berry's	石山さん	フラックス洗浄機 冷却装置排熱の改善
2023年2月度	笑笑	沼澤さん	外観検査工程 空調停止による節電
2023年3月度	Cc-Mission II	芳賀さん	コンプレッサー室寒気対策
2023年4月度	ネオパラエース	吉田さん	プラグオリフィスボール押しク作業時間短縮

クーリングタワー



社内の緑化活動の取組

緑化活動は、社内で花・植物がいつでも見られるように社員が花壇などの整備を行っています



環境法規制等の遵守状況

2023年5月1日に環境事務局による環境法規制等の遵守状況を確認した結果、法令違反等はありませんでした。また、外部から環境に関する苦情や訴訟等は1件もありませんでした。

適用される法規制等	適用される内容	遵守評価
水質汚濁防止法	特定施設の設置の届出、規制基準の遵守	○
廃棄物処理法	委託業者との委託契約、マニフェスト伝票の適正保管	○
PRTR法	指定化学物質の排出量及び移動量の把握、基準量を超える場合は届出	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品の点検及び整備に係る記録簿の備付、廃棄する際は、第一種フロン類回収業者に依頼する、等	○

代表者による全体の実績評価と見直し

2022年度の取組み成果として、節水のみ目標未達となったが、特に二酸化炭素排出量削減で大きな効果が見られた。これは、昨年より活動を進めているCN推進の成果が大きく寄与したものと評価する。

報告会で指摘したとおり、活動項目の中で各種事由により断念したもの、先延ばししたもの等については、資料の中にその旨のコメントを記載し、今後の活動に活かせるよう改善願います。